

# 研究構想

学校の教育目標

**めあてをもち 力を合わせて やりぬく子**

**児童の実態**

- ・課題に対して、自分の考えをもち解決しようとする学習姿勢がある。
- ・考えをまとめたり交流したりする力が育ってきているため、より高みを目指したい。
- ・家庭学習の仕方が分かり、意欲的に取り組む児童が増えてきた。
- ・要支援児に対する基礎学力の定着が必要である。

**願う児童の姿**

- ◎主体的に学習課題を追究し、仲間とともに学び合う子（学びに向かう人間性）
- ・基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた子（知識・技能）
- ・習得した知識・技能を使って、筋道を立てて考え、記述したり説明したりできる子。（思考力・判断力・表現力）

**研究主題**

**確かな学力を身に付ける算数科学習**

—主体的・対話的で深い学びを通して—

**研究仮説**

ねらいを明確にし、筋道を立てて考える力をつけるための表現活動の場を位置付け、一人一人を見届けて、個に応じた手立てを講じれば、確かな学力を身に付けることができる。

**研究内容 1**

指導内容の明確化（指導計画）

- ①授業に役割を持たせ、「評価規準」を明確にした指導計画の作成
  - ・思考力が重点のところに☆
- ②事前の実態把握を生かした指導計画の作成と改善
  - ・レディネステスト、学力調査等

**研究内容 2**

授業づくりの工夫

- ①見通しのもてる追究
  - ・既習事項をふまえた指導の工夫
- ②筋道を立てて考える力をつけるための表現活動
  - ・数学的表現を用いて追究する一人学びの充実
  - ・分かりやすく伝えるための交流活動の工夫
- ③一人一人の力の定着を見届けるための手立て
  - ・評価の場と方法の明確化)
  - ・練習問題の取り組ませ方
  - ・事中与事後の実態把握を生かした指導
  - ・キラリカードの活用

<基礎・基本の定着>

朝活動 計算検定（毎学期） 学力調査

<学び合う学習集団づくり>

9 年を見通した「話し方」「聞き方」の学業指導 算数の学び方の指導

<地域・家庭との連携>

各教科の小中連携 上石津地域共通三実践 学校と家庭との連携による家庭学習の充実